

天草設備（株）

徹底した分別で、ゼロエミ（埋立ゼロ）に挑戦！



実物を貼った
廃棄物分別表

空調設備工事・配管工事などを行う天草設備（株）さんは、ISO14001の認証取得など日頃から環境に対する意識は高かったのですが、平成13年に熊本県の

ゼロエミッション推進事業に参加したのを機に、工事現場などから出た廃棄物を本格的に分別するようになりました。

工事現場から出る廃棄物は、量も多く、多種多様。それらをすべて自社へ持ち込み、大きいものは切断し、異素材で構成される廃棄物は可能な限り解体のうえ、分別しています。現在、その数はなんと29種類！整然と分けられた仮置き場の各ブースには、間違わないように現物を見本として貼り付けるなどの工夫も。分別には時間も手間もかかりますが、そのほとんどが再生利用・再資源化されており、廃棄物処理における再資源化率は99%を誇ります。「1社だけの取り組みではほんの一握りですが、当社の取り組みを知ること、1社でも2社でも産業廃棄物の3Rに挑戦する企業が増えればいい」と総務部長の大畑さんはおっしゃっています。



分別すれば
ゴミも再び資源に！

上天草市地域婦人会連絡協議会

子供たちのために、地域のために、残そう美しい海

流れ着く
ゴミがこんなに！



周りを美しい海に囲まれた上天草市龍ヶ岳町樋島。こちらの婦人会では、環境保全活動の一環として年に数回、海の清掃活動を行っています。海岸に流れ着くゴミは、ビニール袋、ペットボトル、空き缶、プラスチック、流木などさまざま。集めたゴミは分別し、回収してもらっているのですが、樋島では集めた流木で炭を作るのが特徴です。

地元で炭焼きをしている方からアドバイスをもらって作った炭は、清掃活動に参加した方々に配布されています。また、希望者には1袋400円程度で販売もされています。海の清掃活動は主に婦人会の方々ですが、最近では自治会や子供会からの参加も増え、毎回100人前後は集まるのだとか。豊かな海を後世に残したいと願う地域の方々の心が一つになり、海の清掃活動は定着しました。これからも地域が一体となった環境保全活動に取り組んでいただきたいですね！

地元で炭焼きをしている方からアドバイスをもらって作った炭は、清掃活動に参加した方々に配布されています。また、希望者には1袋400円程度で販売もされています。海の清掃活動は主に婦人会の方々ですが、最近では自治会や子供会からの参加も増え、毎回100人前後は集まるのだとか。豊かな海を後世に残したいと願う地域の方々の心が一つになり、海の清掃活動は定着しました。これから地域が一体となった環境保全活動に取り組んでいただきたいですね！



手作りの
炭焼き小屋も
大活躍

熊本県廃棄物処理計画（平成23～27年度）を策定しました。

廃棄物の現状

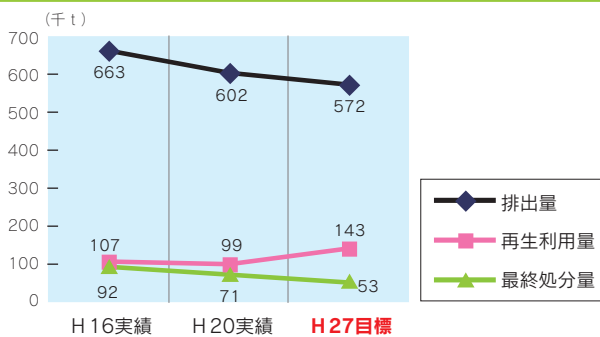
県民、事業者、行政などの取り組みが進んだことや、各種のリサイクル法が整備されたことによって、廃棄物のリサイクルが進展し、最終処分量は減少しています。

しかし、最終処分場の残余容量は少なくなっており、不法投棄もなかなかなくなるのが現状です。

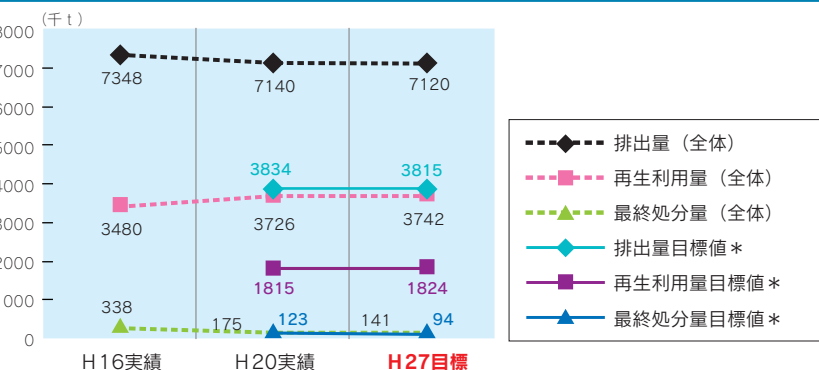
そのため、廃棄物の排出を抑制すること、排出された廃棄物は適正に処理することなどの取り組みをさらに進める必要があります。

今回策定した計画で定めた目標値

一般廃棄物



産業廃棄物



* H27の目標値は、動物のふん尿、火力発電所のばいじんを除いて設定しています。

基本方針

- 第1 廃棄物の排出抑制
- 第2 廃棄物の適正な循環的利用
(①再使用、②再生利用、③熱回収)
- 第3 廃棄物の適正処分
(どうしても循環的な利用ができない廃棄物)



ごみ問題は、私たちが出すごみが原因となっています。この問題を解決していくのは、私たちの責任であることを自覚するとともに、「もったいない」、「ごみは循環資源（宝）」という価値観を持ち、循環型のライフスタイルにチェンジしましょう！